

令和6年度補助金調書

No. 18-1

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128000
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	映像作品撮影事業補助金					分類	(1) 一般補助金（団体等への補助金など）	
②支出の根拠	関市映像作品撮影事業補助金交付要綱						○	(2) 事業補助金（団体等事業に対する補助金など）
							(3) 個人に対する補助金	
							(4) その他	
③支出先	(株) IROHA STANDARD (株) ファニーパンドラ							
④国・県の負担	なし	○ 国の負担あり	負担割合	1/2	負担額	5,000 千円		
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円		
⑤支出の目的	対 象	市内で映画を撮影する者					に対して	
	手 段	映画の撮影を補助し、また撮影された映画の公開					を行うことで	
	受益者	市内観光事業者を始めとする地域全体					が（を）	
	意 図	知名度が向上し、観光客や市内消費の増加により活性化する					という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 27 日				補助開始年度	令和 5 年度		
⑦事務局体制		主に市の担当課	○ 主に支出先団体		その他（	）		
⑧構成員の負担	○ 負担なし		負担あり		負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	○	補助率を定めている→補助率		1/2以内	
	-	20,000	20,000	0		単価を定めている→算式			
						定額補助	○	その他	(上限1千万円)
					有	概算払		前金払	
②過去における 見直し状況									
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円		R6歳出	千円		翌年度繰越額	0 千円
	決算額(事業)	R6歳入	23,785 千円		R6歳出	23,785 千円		翌年度繰越額	0 千円
	R6歳入に占める補助金の割合			84.1 %		○	全体の決算額を把握していない		非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	プロポーザル方式での事業者選定方法
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている(撮影等によるPR)	実施回数や集客人数などの定量的な成果設定、実績報告時の証拠書類等の事実立証を高め、部分払いなどの概算払制度の見直しが必要になる。
	交付先の事業成果は向上しているか	している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	R5で補助を休止した場合は影響あり	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	当補助事業は令和5年度及び6年度の2年間に亘るもので、2事業者に補助金を交付したが、うち1事業者に対しては、年度内に補助金対象事業が完了しないことを理由に補助金交付を取消した。補助金の返還請求を行っているが、2年分の補助金は返還されていないため、民事訴訟で対応する。		

令和6年度補助金調書

No. 18-2

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128015
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市観光振興事業補助金		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
②支出の根拠	関市観光振興事業補助金交付要綱			☐	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				☐	(3)個人に対する補助金	
				☐	(4)その他	
③支出先	2024板取川花火大会実行委員会					
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額 千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額 千円	
⑤支出の目的	対 象	2024板取川花火大会実行委員会			に対して	
	手 段	花火大会の開催に伴う補助			を行うことで	
	受益者	洞戸・板取地域の住民及び同地域			が(を)	
	意 図	住民相互の連帯感を高め、また地域の産業及び観光が発展する			という状態にする	
⑥期間	R 6 年 5 月 24 日 ~ R 6 年 9 月 26 日 補助開始年度 平成 17 年度					
⑦事務局体制	☐	主に市の担当課		☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()	
⑧構成員の負担	☐	負担なし		☐ 負担あり	負担額 あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	3,000	0	3,249	0	単価を定めている→算式		
					☐ 定額補助	☐ その他 ()	
					☐ 有 概算払	☐ 前金払	
②過去における 見直し状況	令和6年度より50万円増額						
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	6,031 千円	R6歳出	6,031 千円	翌年度繰越額	0 千円
	決算額(事業)	R6歳入	6,031 千円	R6歳出	6,031 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		53.9 %		全体の決算額を把握していない		非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	物価高騰に伴い、花火打ち上げ費用や警備費用などの経費が増大していく中で、同じ規模を維持していくためには、補助金の増額とともに協賛金などの自主財源の増額が求められる。又、花火大会の交通整理等を担っている自治会員の高齢化等により、次回以降の協力が得られるかが課題である。		

令和6年度補助金調書

No. 18-3

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128025
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市観光振興事業補助金		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)					
②支出の根拠	関市観光振興事業補助金交付要綱			☐	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
				☐	(3)個人に対する補助金				
				☐	(4)その他				
③支出先	関市板取あじさいまつり実行委員会								
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円			
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円			
⑤支出の目的	対 象	関市板取あじさいまつり実行委員会				に対して			
	手 段	あじさいに因んだイベントやあじさいの管理等に要した費用の一部補助				を行うことで			
	受益者	市民及び板取地域に訪れた人々				が(を)			
	意 図	交流産業の推進並びに板取地域の振興を図るとともに、自然環境保全に対する意識を高める				という状態にする			
⑥期間	R 6 年 4 月 16 日 ~ R 6 年 11 月 20 日					補助開始年度	平成 17 年度		
⑦事務局体制	☐	主に市の担当課		☐	主に支出先団体		☐	その他 ()	
⑧構成員の負担	☐	負担なし		☐	負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	4,500	5,000	5,000	5,000	単価を定めている→算式		
					☐ 定額補助	☐ その他 ()	
					☐ 概算払	☐ 前金払	
②過去における 見直し状況	令和5年度より50万円増額						
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	5,590 千円	R6歳出	5,590 千円	翌年度繰越額	0 千円
	決算額(事業)	R6歳入	5,590 千円	R6歳出	5,590 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		89.4 %	全体の決算額を把握していない		☐ 非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	ない	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適当	
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	原状維持	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	あじさいを通じて板取地域が活性化するよう魅力的な催しを実施することが求められる。 令和5年度より50万円増額。		

令和6年度補助金調書

No. 18-4

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128035
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市観光振興事業補助金		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)					
②支出の根拠	関市観光振興事業補助金交付要綱			☐	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
				☐	(3)個人に対する補助金				
				☐	(4)その他				
③支出先	関市武芸川ふるさと夏まつり実行委員会								
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円			
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円			
⑤支出の目的	対 象	関市武芸川ふるさと夏まつり実行委員会				に対して			
	手 段	花火大会の開催に伴う補助				を行うことで			
	受益者	武芸川地域の住民及び同地域				が(を)			
	意 図	住民相互の連帯感を高め、また地域の産業及び観光が発展する				という状態にする			
⑥期間	R 6 年 5 月 30 日 ~ R 6 年 8 月 28 日					補助開始年度	平成 17 年度		
⑦事務局体制	☐	主に市の担当課		☐	主に支出先団体		☐	その他 ()	
⑧構成員の負担	☐	負担なし		☐	負担あり		負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	0	3,000	3,500	3,500	単価を定めている→算式		
					☐ 定額補助	☐ その他 ()	
					☐ 概算払	☐ 前金払	
②過去における 見直し状況	令和6年度より50万円増額						
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	6,793 千円	R6歳出	6,793 千円	翌年度繰越額	0 千円
	決算額(事業)	R6歳入	6,793 千円	R6歳出	6,793 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		51.5 %	全体の決算額を把握していない		☐	非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	近年の物価高騰による花火打ち上げ費用や事故防止のための警備強化に伴う経費が増大しており、これまでと同様の規模で花火イベントを継続していくためには、協賛金などの自主財源の増額確保とともに事業補助金の増額が求められる。		

令和6年度補助金調書

No. 18-5

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128060
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市観光振興事業補助金					分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
②支出の根拠	関市観光振興事業補助金交付要綱						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
③支出先	関市刃物まつり実行委員会						(3)個人に対する補助金		
							(4)その他		
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額		千円		
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額		千円		
⑤支出の目的	対 象	関市刃物まつり実行委員会						に対して	
	手 段	刃物まつり開催に伴う補助						を行うことで	
	受益者	観光客、関市、関市の刃物関連業者						が(を)	
	意 図	関市内観光の振興及び住民の交流促進を図り、地域の活性化及び発展並びに経済発展に寄与する						という状態にする	
⑥期間	R 6 年 5 月 24 日 ~ R 7 年 3 月 31 日					補助開始年度	昭和 43 年度		
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体		☐ その他 ()					
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり		負担額	あたり 円				

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率			
	10,947	13,255	14,986	16,000	単価を定めている→算式			
					☐ 定額補助	☐ その他 ()		
					☐ 概算払	☐ 前金払		
②過去における 見直し状況								
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	15,926 千円	R6歳出	15,926 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	決算額(事業)	R6歳入	15,926 千円	R6歳出	15,926 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R6歳入に占める補助金の割合		94.1 %	全体の決算額を把握していない			☐ 非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適正	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	人件費及び物価の高騰により、開催に伴う会場警備費やシャトルバス運行費などの会場整備費が嵩みつつあるため、同規模でイベントを継続するには補助金の増額が不可欠である。		

令和6年度補助金調書

No. 18-6

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128060
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市観光振興事業補助金	分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
②支出の根拠	関市観光振興事業補助金交付要綱		☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
③支出先	関市民花火大会実行委員会		☐ (3) 個人に対する補助金				
			☐ (4) その他				
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額		千円
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対 象	関市民花火大会実行委員会					に対して
	手 段	関市民花火大会開催に伴う補助					を行うことで
	受益者	地域住民及び関市に訪れた人々					が(を)
	意 図	市民に花火を楽しんでもらうとともに、市の産業及び観光が発展する					という状態にする
⑥期間	R 6 年 5 月 2 日 ~ R 6 年 12 月 5 日	補助開始年度	平成 22 年度				
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()				
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	6,577	8,802	9,683	11,000	単価を定めている→算式		
	☐ 定額補助		☐ その他 ()				
	☐ 概算払		☐ 前金払				
②過去における 見直し状況							
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	20,013 千円	R6歳出	20,013 千円	翌年度繰越額	0 千円
	決算額(事業)	R6歳入	20,013 千円	R6歳出	20,013 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		48.4 %	全体の決算額を把握していない		非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適正	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	物価高騰に伴う花火打ち上げ費用や警備費用の高騰、また事故防止のための警備の強化により経費が増大しており、同じ規模でイベントを継続するためには、協賛金などの自主財源の確保とともに補助金の増額が求められる。		

令和6年度補助金調書

No. 18-7

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128065
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	観光協会事業補助金	分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)				
②支出の根拠	関市観光協会補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
③支出先	(一社)関市観光協会		(3)個人に対する補助金				
			(4)その他				
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	関市観光協会				に対して	
	手 段	関市の観光産業の発展に伴う補助				を行うことで	
	受益者	関市、観光事業者、刃物産業をはじめとする市内の事業者、飲食店をはじめとする市内店舗、観光客				が(を)	
	意 図	観光、産業並びに地域の活性化及び経済効果を生む				という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 10 日 ~ R 7 年 3 月 31 日					補助開始年度	昭和 43 年度
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課		☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()			
⑧構成員の負担	☐ 負担なし		☐ 負担あり	負担額	1会員 あたり	5,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	20,763	44,564	47,000	60,000	単価を定めている→算式		
					☐ 定額補助	☐ その他 ()	
					☐ 概算払	☐ 前金払	
②過去における 見直し状況							
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	93,281 千円	R6歳出	91,942 千円	翌年度繰越額	1,339 千円
	決算額(事業)	R6歳入	48,173 千円	R6歳出	48,173 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		97.6 %	全体の決算額を把握していない		非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	概ね達成できている	物価高騰を含めた事業の拡大と人件費増大のバランス
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	市、まちづくり会社その他団体との役割を整理し、観光事業を行う社団法人としての実施すべき内容を検討する必要がある。利害関係者との調整役を担うとともに、民間ならではの思い切った事業を推進してほしい。		

令和6年度補助金調書

No. 18-8

担当課	観光課	室・部・局	産業経済部	予算事業コード	128065
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	鵜飼維持保存対策事業補助金	分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
②支出の根拠	小瀬鵜飼維持保存対策補助金交付要綱		☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
③支出先	小瀬鵜飼保存会		☐ (3) 個人に対する補助金				
			☐ (4) その他				
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額		千円
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対 象	小瀬鵜飼保存会					に対して
	手 段	小瀬鵜飼の維持保存の対策					を行うことで
	受益者	鵜匠、船頭及び鵜飼関連事業者					が(を)
	意 図	鵜飼文化の維持、保存、継承に貢献する					という状態にする
⑥期間	R 6 年 4 月 12 日 ~ R 7 年 3 月 31 日	補助開始年度	昭和	40	年度		
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他	()			
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	19,058	20,000	20,886	22,000	単価を定めている→算式		
					☐ 定額補助	☐ その他	()
					☐ 概算払	☐ 前金払	
②過去における 見直し状況	令和6年度より200万円増額						
③支出先の決算 の状況	決算額(全体)	R6歳入	20,886 千円	R6歳出	20,886 千円	翌年度繰越額	0 千円
	決算額(事業)	R6歳入	20,886 千円	R6歳出	20,886 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		100.0 %	全体の決算額を把握していない		☐ 非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	小瀬鵜飼保存会からの要望を受け、令和6年度より物価高騰に対応するべく補助金の増額を行った。今後も必要があれば補助金額について小瀬鵜飼保存会と協議を行いたい。		